

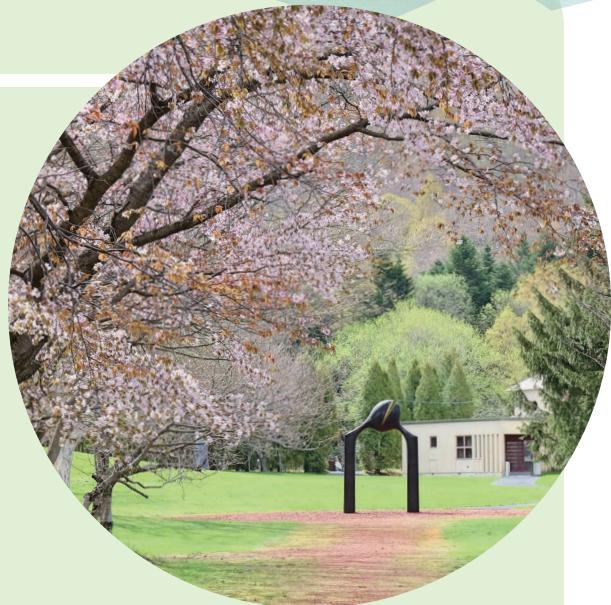
2020.05
vol.2びばい農泊
ニュースレター

ごあいさつ

春になりました。今年の雪解けは早く、4月の初めにはもうアルテピアツツア美唄の野外大理石彫刻や旧東明駅舎に保存されているSLの覆いが外されました。日照時間も長くなり、畑や水田での作業も大忙しになる時期ですね。美唄産の農作物が籠いっぱいにお店に並ぶ日もうすぐでしょうか。楽しみです。

さて、協議会ではウェブサイト「きこえる一食・農・アートのまち北海道・美唄を暮らすように旅する」を開設し、InstagramとFacebookも始めました。美唄のもつ魅力、そしてその魅力が生まれた背景や支える方々のことを感じてもらえるよう、昨年度学んだことを活かして情報発信していきます。美唄を旅先や移住先として検討してくださる方のみならず、美唄で住んだり働いたりしている方にも楽しんでいただけるページにしたいと思っています。ぜひご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、地域のお店や企業を支えるのは、この地で暮らす一人ひとりの力が大きいということを実感しています。辛い思いをする人が一人でも少ないと、その辛さが少しでも小さいこと、そしてこの事態ができるだけ早く収束に向かうことをできる限りの対策を取りつつ願っています。



「関係人口」とは…



『移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと』(出典:総務省ウェブサイト*)と定義されている関係人口を、先号では「美唄を心のふるさととしていつも気にかけて応援」してくださる方と表現しました。共にまちをつくるパートナーともなりうる「関係人口」と出会う門は、「なんか良さそうだから行ってみようかな」「美唄で会った人、いい人だったな」「また行こうかな」「何かしらで関わりたいな」と思ってもらうまちを、美唄で暮らす人が、日々の暮らしの中でつくり上げていくことで、ゆっくりと、でも着実に開かれていくように思います。



*https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/kankeijinkou.html (総務省)

2月

ウェブサイト映像の撮影を行いました

雪が厚く積もった2月の半ば、3日をかけて協議会ウェブサイトのトップページの映像撮影を行いました。初日はアルテピアツツア美唄を撮影した後に美唄やきとりに舌鼓。2日目は朝早くからの撮影かつ旧三菱美唄炭鉱エリアまで足を延ばしたこともある、夕食時には皆疲労困憊でした。完成した映像では、およそ10時間分が7分弱にギュギュっと凝縮されています。



す。制作をお願いしたnon-standard world株式会社の高崎氏は、編集直後に「できました！もう燃え尽きました…」とのメッセージを送ってくださいました。美唄の美しさと、この土地で暮らすことのあたたかい心地よさを感じてもらえる映像になったかなと思います。

3月

冬のモニターツアー&岩内町の目黒沙弥さんトーク

今回のモニターツアーでは冬の美唄の楽しみ方を検討することとし、雪景色の豊饒の見学、アルテピアツツア美唄敷地内でのかんじきウォーク、まち歩きツアー等を行いました。昔ながらのかんじきは見た目も愛らしく、歩いているうちに脱げてしまうなどコツをつかむのに苦戦しながら楽しむ時間となりました。まち歩きでは駅周辺を歩いて巡り、個人の好みがある中で全員を同じ場所に案内するツアーを組むことの難しさを感じました。宿泊場所はオープンしたばかりのホテルレビジローで、落ち着いて休める居心地の良さと朝食、そして笑顔でのサービスが好評でした。

また、岩内町で IWANAI UNITED（イワナイ・ユナイテッド）という旅行会社を営む目黒沙弥さんをお招きし、まちの魅力を伝える取組みをお話しいただきました。未来を担う子どもたちへの働きかけを積極的に行なう姿勢が印象的でした。



編集後記

事務局の影山です。昨年度は農泊事業を通して、今まで知らなかった魅力的な「美唄」を再発見できました！今年も食・農・アートを通して、あなたの知らない美唄をお届けします。

発行：びばい食農アートまちづくり推進協議会

びばい食農アートまちづくり推進協議会は以下の4つの団体で構成されており、事務局はアルテピアツツア美唄内にあります。また、美唄フォレストセンター（駅前活性化センター）2階の事務所スペースを利用し、毎週金曜日10～18時をオフィスアワーとして開館（現在休止中、7月より再開予定）しています。ご用の折にはお気軽にお立寄りください。

- NPO法人アルテピアツツアびばい
- 美唄市農業協同組合
- 株式会社美唄自動車学校
- 貞広農場 よーいDON